

臨在信仰による勝利

創世記三九章

彼はこうして、牢獄にいたることになった。しかし、主はヨセフと共におられ、慈しみを示し、牢獄長の目に適うようにされた。(20、21)

兄たちによつて奴隸として売られたヨセフはエジプトにやってきました。父の家から遠く離れ、神からも見放されたように思える境遇の中で、聖書は「主がヨセフと共におられたので」(2)と語ります。主の目はエジプトにも届いていたのです。そのヨセフは、ポティファルの妻から誘惑されたときも、常に神の御前を歩み、罪を犯すことはありませんでした。主がヨセフと共におられただけでなく、ヨセフはどんなときにも主と共に歩んだのです。ポティファルの妻の恨みを買つて投獄されたヨセフでしたが、聖書はそこでも、「主はヨセフと共におられた」(21、23)と繰り返し語ります。神は信じる者たちと、どんな時にもどんな場所にも共にいてくださるのです。ヨセフの神を私の神として仰ぎ、常に共におられる主を信じて、信仰の道を真つ直ぐに進んで行くことはありませんか。